

行政視察等報告書

平成30年8月9日

米子市議会議長様

会派名 蒼生会
 代表者氏名 尾 沢 三 夫
 提出者氏名 戸 田 隆 次



下記のとおり報告します。

記

項 目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	稲田 清、岩崎康朗、岡田啓介、奥岩浩基、尾沢三夫、 門脇一男、田村謙介、戸田隆次、三嶋秀文、渡辺穰爾
期 日	平成30年8月6日から平成30年8月7日まで
〔概要〕（年月日・場所・内容） 平成30年8月6日 新小山最終処分場「新小山最終処分場の運営等につ いて」 8月7日 愛知県岩倉市「議会改革について」	
〔所感〕 別紙のとおり	
経 費	旅費総額 522,802円

報 告 書

1. 視察日時 平成30年8月6日(月)14時～16時
2. 場所 三重県四日市市小山町一新小山最終処分場
(設置者*一般財団法人 三重県環境保全事業団)
3. 新小山最終処分場施設概要
 - ・施設総面積—285,200m²
 - ・埋立地面積—94,500m²
 - ・埋め立て総容量—1,672,000m³
(廃棄物量—1,372,000m³ 覆土量—299,900m³)
4. 埋め立て対象物
 - ・産業廃棄物許可品目
汚泥・廃プラスチック類・ガラスくず等・がれき類・ゴムくず・金属くず・紙くず・動植物性残渣・繊維くず・一般廃棄物(災害に伴って発生した一般廃棄物に限る)・混合ごみ(混合ごみとは、分別が困難で不燃ごみと可燃ごみが混在したものをいう)
5. 埋め立て計画期間
 - ・約15年 (但し、災害廃棄物が発生しない場合は、約21年)
6. 事業沿革
 - ・平成11年11月 廃棄物処理法に定める「廃棄物処理センター」の指定(全国で9番目)
 - ・平成12年8月 「廃棄物処理センター建設計画に係る環境影響評価書」作成

- ・平成22年3月 「新小山最終処分場」 建設工事着手
- ・平成24年12月 「新小山最終処分場」 一部完成供用開始
- ・平成26年3月 「新小山最終処分場」 全施設完成

7. 事業費

- ・埋立地全体工事費一約60億円
- ・浸出水処理施設、緑地帯整備工事費等一約1.1億円

8. 施工業者 鹿島（大手ゼネコン）と地元業者のJV

9. 公害防止協定書締結先

- ・地元関係自治会
- ・地元関係土地改良区

10. 埋め立て計画

- ・第1期—第2期—第3期の区分計画

11. 浸出水水質保全について

- ・公害防止協定締結者に対し、水質保全6項目及び生活環境項目について、毎月報告する。

12. 遮水施設

1) 埋立地法面部

- ・モルタル吹付け（t-70mm）不織布—（t-10mm）遮水シート（t-1.5mm）保護層（t-10mm）遮水シート（1.5mm）遮光性不織布（t-10mm） 「6層」

2) 埋立地底面部

- ・セメント改良度（t-500mm） ベントナイト混合度（t-25

0 mm) セメント改良度 (t-250 mm) 不織布 (t-10 mm)
遮水シート (t-1.5 mm) 不織布 (t-10 mm) 「6 層」

13. 浸出水処理方式

- ・生物処理→凝集沈殿処理→砂ろ過処理→活性炭吸着処理→キレート吸着処理

14. 施設の特徴

- ・埋立地計画を3期計画としている事
- ・産業廃棄物最終処分場に、災害に伴って発生する一般廃棄物を併せ処理する事
- ・地域環境に配慮した緑地公園（下流緑地いこいの広場・緩衝緑地せせらぎ緑地）を多分に配している事

15. 施設周辺環境

- ・施設用地は窪地であった事
- ・浸出水の放流先河川において、水源地はない事
- ・民家集落が施設に隣接している事
- ・民間の廃棄物処理施設が立地されている事

16. 考 察

新小山最終処分場と鳥取県管理事業センターが計画する最終処分場の計画内容と比した場合、最終処分場の底面部・法面部の構造については、ベントナイト混合土の使用等により同様な構造と思考される。

しかし、浸出水の処理方式について、新小山最終処分場においては、鳥取県管理事業センターが導入計画としている、RO膜（逆浸透膜）が採用

されていない。その理由について問うたところ、建設コストが高い事・浸出水の放流先に水源地が無い事・放流水先で用水として利用する方々から理解を得られた事・膜で除去した塩分の最終処分コスト等を考慮したとの事。

周辺住民の方々に対する最終処分場設置に係る対応方針について伺ったが、住民の方々においては、何処かで産業廃棄物を処理せねばならない、やむを得ないとの雰囲気であったとの事。

鳥取県管理事業センターが、淀江町地内に産業廃棄物最終処分場の建設計画を推進中であるが、地元関係者への説明不足が否めない。今後、同センターに地元住民・関係住民の方々に十分な説明を果たすべく促したい。また、鳥取県の立ち居地について、精査が必要と思料する。

新小山最終処分場の概要

建設の目的

当財団は、昭和52年の設立当初より、三重県の環境保全と社会経済活動の基礎を支え、県内から発生する産業廃棄物の最終処分事業を継続してまいりました。
 新小山最終処分場は、この事業を継承するため、産業廃棄物処理センター事業として最新の技術を取り入れた「周辺環境との共生」をコンセプトに、モデルとなる最終処分場を目指して整備いたしました。なお、この処分場は、今後発生が危惧されている東海・東南海・南海・南海地震などの自然災害に伴い発生する災害廃棄物の受け皿としての役割も担っています。
 このように、新小山最終処分場は「産業廃棄物の受け皿としての役割」と「大規模災害時の生活環境の保全を目的に、周辺環境との調和と地域住民の皆様方に信頼いただける施設として適正な運営管理に努めてまいります。



施設概要

施設面積	285,200㎡
埋立地面積	94,500㎡
管理施設等面積	48,500㎡
緑地面積	142,200㎡
埋立貯留量	1,672,000㎡
約15年(但し、災害廃棄物が発生しない場合は、約21年)	埋土等量: 299,900㎡

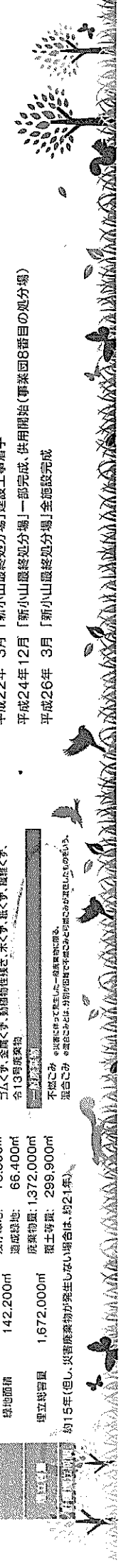
許可品目

汚泥、腐プラスチック類(石油含有産業廃棄物を除く)、
 ガラスくず等類(石油含有産業廃棄物を除く)、灰汁、
 かねてり、石油含有産業廃棄物を除く)、燃えかた、ばいじん、
 こまくず、空筒くず、動物性骨殖を、木くず、紙くず、繊維くず、
 全13号産業廃棄物

不燃ごみ e 燃やさないごみ
 燃やさないごみ e 燃やさないごみ

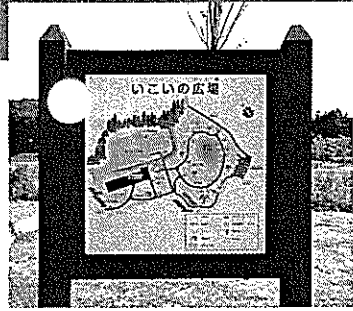
事業沿革

- 平成11年11月 廃棄物処理法に定める「廃棄物処理センター」の指定(全国で9番目)
- 平成12年8月 「廃棄物処理センター建設計画に係る環境影響評価書」作成
- 平成22年3月 「新小山最終処分場」建設工事着手
- 平成24年12月 「新小山最終処分場」一部完成、供用開始(事業団8番目の処分場)
- 平成26年3月 「新小山最終処分場」全施設完成



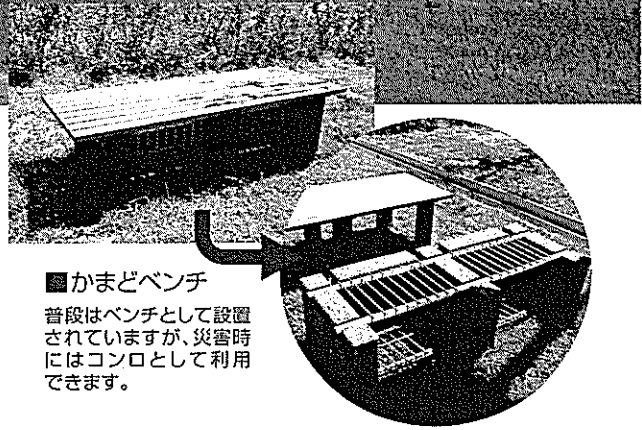
6 地域環境に配慮した緑地公園

周辺環境に配慮した設備・施設で、地元地域と共生しています。

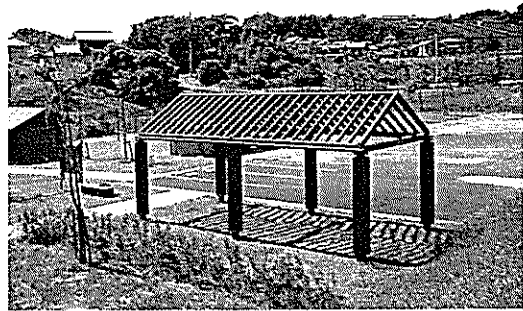


6-1 いこいの広場

この広場は、地元自治会からの要望を踏まえ、防災公園的な機能を持たせた緑地公園として設置したものです。住民の皆様の「いこいの場」として利用いただいています。



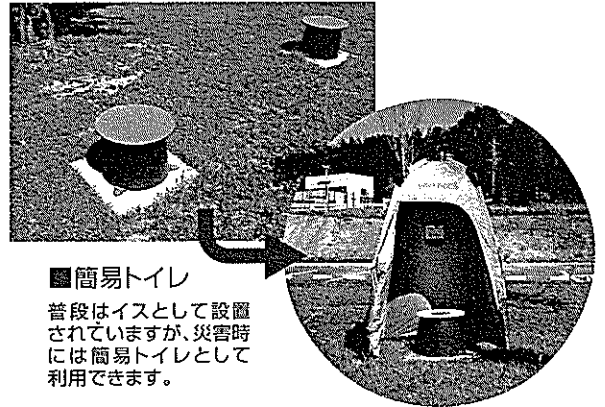
■かまどベンチ
普段はベンチとして設置されていますが、災害時にはコンロとして利用できます。



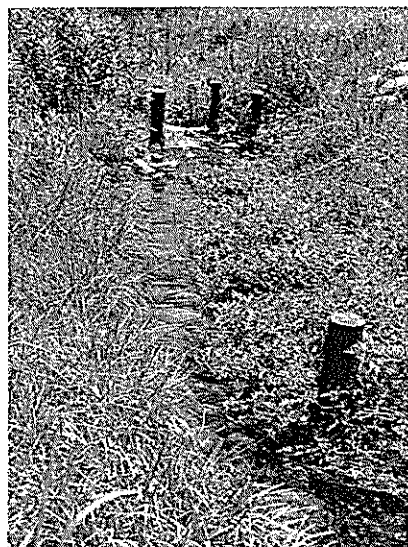
■パゴラ
災害が発生してしまった場合に、大型のテントになります。



■ハイブリッド照明
太陽と風のエネルギーを利用して、ECO照明を実現。



■簡易トイレ
普段はイスとして設置されていますが、災害時には簡易トイレとして利用できます。



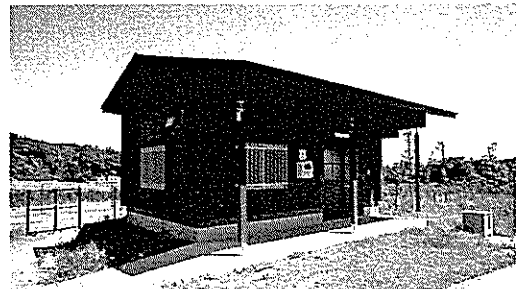
■せせらぎ水路

6-2 せせらぎ緑地

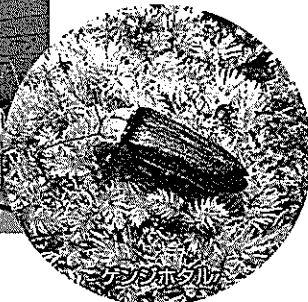
この緑地は、地元小山町の集落と最も近接することから景観に配慮した緩衝緑地帯としての機能と、従前この地域で見られたゲンジホタルを再生するための「せせらぎ水路」やホタル飼育管理小屋を設置しています。



■ホタルの飼育状況



■ホタル飼育管理施設
施設内にはゲンジホタルや、この地域に生息する生物等の情報展示スペースを設け、住民の皆様に開放しています。



視察行程 会派：政英会【^{せいえいかい} 稲田 清、岩崎康朗、岡田啓介、奥岩浩基、尾沢三夫、門脇一男、田村謙介、戸田隆次、三鴨秀文、渡辺穰爾（10名）】

月 日	行 程	宿 泊 地	
8/6 (月)	6:59 7:03 7:32 8:12 10:24 10:49 12:10 12:50 13:17 米子駅＝(伯耆大山駅)＝倉吉駅 ＝＝＝＝ 姫路駅 ＝＝＝＝ 名古屋駅 ** 近鉄名古屋駅 ＝＝＝ 近鉄四日市駅・・・最終処分場 JR 特急スーパーまつかぜ2号 JR 特急スーパーはくと4号 JR 新幹線のぞみ124号 徒歩 近鉄名古屋線特急・鳥羽 タクシー	【宿泊先】 ①ダイワロイネット 名古屋新幹線口(3名) ☎052-452-7055 ②ヴィアイン名古屋 新幹線口(7名) ☎052-453-5489	
	新小山最終処分場視察 午後2時00分ごろから2時間程度 【調査項目】新小山最終処分場の運営等について		新小山最終処分場 電話：059-328-2567
	16:33 16:46 16:50 17:25 新小山最終処分場・・・高角駅 ＝＝＝＝ 近鉄四日市駅 ＝＝＝＝ 近鉄名古屋駅 タクシー 近鉄湯の山線・近鉄四日市行 近鉄名古屋線急行・近鉄名古屋行		
8/7 (火)	9:22 9:34 名鉄名古屋駅 ＝＝＝＝＝＝ 岩倉駅 ** 岩倉市役所 名鉄名古屋本線快速特急・新瀬沼行 徒歩		
	岩倉市行政視察 午前10時00分ごろから2時間程度 【調査項目】議会改革について		議会事務局 電話：0587-38-5820
	12:21 12:32 14:33 15:54 16:20 17:52 19:42 19:47 岩倉駅 ＝＝＝＝ 名鉄名古屋駅 ** 名古屋駅 ＝＝＝＝ 姫路駅 ＝＝＝＝ 鳥取駅 ＝(伯耆大山駅)＝ 米子駅 名鉄犬山線急行・豊橋行 徒歩 JR 新幹線のぞみ111号 JR 特急スーパーはくと9号 JR 特急スーパーまつかぜ11号		

※平成30年7月豪雨により、JR伯備線が被害を受けたため、特急スーパーやくもが一定期間運行を見合わせる事となった。
復旧の時期等、目途が立たなかったため、特急スーパーはくとを利用する行程とした。

旅費計算表

平成30年8月6日 ~ 平成30年8月7日 (1泊2日)

政英会会派行政視察等
新小山最終処分場・愛知県岩倉市

月 日	区 間	鉄 道 路 線 名	区 間 キ ロ 数	目 的 地 ま での キ ロ 数	運 賃	グ リ ー ン	急 行 料 金		日 当 宿 泊 料		
							特 別	新 幹 線	議 員 1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円
8/6	米 子 ~ 倉 吉	JR	52.9		8,640		1,900		1,500		
(火)	倉 吉 ~ 姫 路	JR	162.6				1,790				
	姫 路 ~ 名 古 屋	JR	278.3				4,480				
	近鉄名古屋 ~ 近鉄四日市	近鉄	36.9		620		510				
	高 角 ~ 近鉄四日市	近鉄	6.7		710						
	近鉄四日市 ~ 近鉄名古屋	近鉄	36.9								
8/7	名鉄名古屋 ~ 岩 倉	名鉄	13.0		350				1,500		
(火)	岩 倉 ~ 名鉄名古屋	名鉄	13.0		350						
	名 古 屋 ~ 姫 路	JR	278.3		8,640			4,480			
	姫 路 ~ 鳥 取	JR	122.8				1,470				
	鳥 取 ~ 米 子	JR	92.7				1,900				
計	議 員 旅 費			38,840	19,310	0	7,570	8,960	3,000	0	0
	随 行 旅 費			0							

出 席 議 員 門脇一男

議員旅費 (JR運賃)	38,840 × 1名 =	38,840 (JR米子駅発着 1名分)
旅行取扱手数料	540 × 10名 =	5,400
タクシー代一式		11,950 (近鉄四日市駅→新小山最終処分場)
タクシー代一式		6,090 (新小山最終処分場→高角駅)
宿泊代	12,500 × 3名 =	37,500
宿泊代	11,500 × 7名 =	80,500
お土産代一式		2,592 (新小山最終処分場、岩倉市)
計①		182,872

旅費計算表

平成30年8月6日 ~ 平成30年8月7日 (1泊2日)

政英会会派行政視察等
新小山最終処分場・愛知県岩倉市

月 日	区間	鉄道路線名	区間キロ数	目的地までのキロ数	運賃	グリーン	急行料金		日 当 宿 泊 料		
							特 別	新 幹 線	議員1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円
8/6	伯耆大山 ~ 倉吉	JR	52.9		8,320		1,470		1,500		
(火)	倉吉 ~ 姫路	JR	162.6				1,790				
	姫路 ~ 名古屋	JR	278.3					4,480			
	近鉄名古屋 ~ 近鉄四日市	近鉄	36.9		620		510				
	高角 ~ 近鉄四日市	近鉄	6.7		710						
	近鉄四日市 ~ 近鉄名古屋	近鉄	36.9								
8/7	名鉄名古屋 ~ 岩倉	名鉄	13.0		350				1,500		
(火)	岩倉 ~ 名鉄名古屋	名鉄	13.0		350						
	名古屋 ~ 姫路	JR	278.3		8,320			4,480			
	姫路 ~ 鳥取	JR	122.8				1,470				
	鳥取 ~ 伯耆大山	JR	92.7				1,900				
計	議員旅費			37,770	18,670	0	7,140	8,960	3,000	0	0
	随行旅費			0							

出席議員 稲田 清、岩崎康朗、岡田啓介、奥岩浩基、尾沢三夫、田村謙介、戸田隆次、三鴨秀文、渡辺穰爾

議員旅費 (JR運賃) $37,770 \times 9名 = 339,930$ (JR伯耆大山駅発着 9名分)
計② 339,930

旅費総額(計①+計②) 522,802 円